

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】令和3年1月14日(2021.1.14)

【公開番号】特開2019-142115(P2019-142115A)

【公開日】令和1年8月29日(2019.8.29)

【年通号数】公開・登録公報2019-035

【出願番号】特願2018-28754(P2018-28754)

【国際特許分類】

B 41 J 2/01 (2006.01)

B 41 J 2/175 (2006.01)

【F I】

B 41 J 2/01 3 0 1

B 41 J 2/175 1 3 3

B 41 J 2/175 3 0 1

B 41 J 2/01 4 0 1

【手続補正書】

【提出日】令和2年11月20日(2020.11.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

筐体と、

媒体に液体を吐出して画像を記録する記録ヘッドと、

前記記録ヘッドに供給する液体を収容可能な液体収容部と、

前記筐体に収容され、前記記録ヘッドを搭載するキャリッジと、を備え、

前記液体収容部は、液体を注入可能な注入部を有し、

前記液体収容部の少なくとも一部分は、収容する液体の残量を視認可能な透明度を有する透明材料で形成され、

前記筐体は、前記筐体内に位置する前記液体収容部が収容する液体の残量を視認可能な開口を有することを特徴とする記録装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項2】

前記筐体において、前記記録ヘッドによって液体を吐出された前記媒体が排出されるための排出口が設けられる面を前面とすると、

前記開口は、前記筐体の前記前面、上面及び側面のうち少なくとも前記上面に形成されることを特徴とする請求項1に記載の記録装置。

【手続補正3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】

前記筐体において、前記記録ヘッドによって液体を吐出された前記媒体が排出されるための排出口が設けられる面を前面とすると、

前記開口は、前記筐体の前記前面、上面及び側面のうち少なくとも2つの面に亘って形成されることを特徴とする請求項1に記載の記録装置。